

各イベントのお申し込み・お問い合わせは文化のみち二葉館 TEL/FAX 052-936-3836 ※イベントの予定は変更になる場合があります。

「姫きもの」—夏の作品展—

◆8月6日(火)～8月11日(日) 10:00～17:00
(最終日は15:00まで) ◆会場:1階集会室、2階和室1&2

江戸時代の着物を「姫きもの」に復元関連講演会

◆8月8日(木) 13:30～14:30 ◆会場:1階集会室

「姫きもの」制作無料講習会

◆8月6日(火)・7日(水)・9日(金) ◆会場:1階集会室
◆各日 第一回 10:30～12:00 第二回 13:30～15:00
◆定員:各10名 材料費:¥1,000
裁縫道具(糸、針、はさみ)をご持参下さい。
※申し込み方法・受付日:文化のみち二葉館に電話またはFAXで申し込み 7月30日(火)10:00～12:00(但し重複申し込みは不可)
◆協力:古裂美術工房

まるはちの日

◆8月8日「まるはちの日」は、二葉館1階「ふたば茶屋」にて、先着88名様に冷たい抹茶を進呈します(九鬼宗幸氏/茶道裏千家)。
◆午前11時より、受付にて呈茶券を配布。無くなり次第終了。
◆会場:1階集会室

夏休み「文化のみち」子ども教室

「子どものステンド硝子アート教室」(参加無料)

新しい技法のステンド硝子アート作品の製作教室を行います。
◆8月17日(土) 10:30～12:00
◆会場:1階集会室
◆定員:20名(対象:小・中学生)
※申し込み方法・受付日:文化のみち二葉館に電話またはFAXで申し込み
8月11日(日) 10:00～12:00 ※先着20名
※徳川美術館・文化のみち榎木館でも夏休み「文化のみち」子ども教室が開催されます。詳細は各館HPをご覧ください。

名古屋をもっと楽しもう! ぐるりとあそび—NAGOYAスタンプラリー—

名古屋の面白さを再発見!!スタンプを集めて、すてきな賞品をゲットしよう!!
◆6月1日(土)～9月1日(日)

伝統芸能 「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と日本伝統楽器「三味線」初心者無料体験講習会

◆9月7日(土) 13:00～13:45 正調名古屋甚句・端唄
14:00～14:45 「三味線」初心者
◆会場:1階集会室 ◆定員:各15名
※申し込み方法・受付日:文化のみち二葉館に電話またはFAXで申し込み 8月30日(金) 10:00～12:00
◆講師:甚 富華氏、甚 小真氏 ※次回は12月を予定

「吉原音曲考」「伝統・なごや楽」to その歴史

江戸時代、文化文政の頃、江戸吉原、名古屋大須の旭廊、また東海道五十三次で有名な熱田・宮の宿場町にかけて唄われた伝統芸能の数々とその歴史を交えながらご紹介します。
◆9月16日(月・祝/敬老の日) 13:00～14:20
◆会場:1階大広間
◆出演:華房真子(熱田神戸節・どど一保存会会長、端唄 華房流華の会家元) 甚 富華(正調名古屋甚句を拓める会代表)他
※要入館料 但し名古屋市在住65歳以上の方は入館料無料(敬老手帳の掲示が必要です)。

ステンド硝子アート作品展 「Bird & Blossom」

◆10月12日(土)～10月20日(日) 10:00～17:00
◆会場:1階集会室、2階和室1&2

文化のみち・ステンドグラス建築探訪ツアー

◆10月20日(日) 10:30～(当日1ツアーのみ)
※申し込み方法・受付日:文化のみち二葉館に電話またはFAXで申し込み 10月11日(金) 10:00～12:00 ※先着25名
※10月20日(日)は、名古屋まつりです。
文化のみち二葉館の入館料は無料です。

文化のみち情報BOX

旧豊田佐助邸

■保存改修工事のため休館していた旧豊田佐助邸が、9月5日(木)から公開を再開します。この建物には、発明王・豊田佐吉の弟、佐助が住んでいました。白いタイル張りの木造の洋館と広い間取りの和館を併設した珍しいスタイルで、洋館の1階では蓮のつぼみの形の照明、吊元の装飾、鶴亀にとよだの文字をデザインした換気口などが見られます。



揚輝荘

■貞奴も訪れたと言われる揚輝荘南園にある聴松閣が8月29日(木)に開館します。揚輝荘は、(株)松坂屋の初代社長15代伊藤次郎左衛門祐民が、大正から昭和初期にかけて覚王山の丘陵地に建設した別荘で、主要な部分として保存された庭園と建物が、平成18年度末に名古屋市に寄贈されました。平成20年5月に、5棟の建造物(聴松閣、揚輝荘座敷、伴華楼、三賞亭、白雲橋)が市指定有形文化財に指定されています。



トニエエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで
入館料割引一般200円→160円

なごやは金バス/メーグル
なごや観光ルートバス
NAGOYA SIGHTSEEING ROUTE BUS
メーグル

NEWS LETTER
ふたば便り Vol.17
発行日 2013年8月1日
発行 文化のみち二葉館
【名古屋市旧川上貞奴邸】
〒461-0014 名古屋市中区榎木町3-23
TEL&FAX 052-936-3836
http://www.futabakan.jp/

※この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



文化の日と文化のみち二葉館

名古屋城から、昭和初期の帝冠様式を持つ市役所・県庁、現存する最古の控訴院である市政資料館(旧名古屋控訴院・地方裁判所)、白壁地区、尾張徳川家菩提寺の建中寺など含む、徳川園までの東西約3kmの帯は「文化のみち」と名付けられた地区です。

二葉館は、日本初の女優と謳われた川上貞奴と電力王と称された福沢桃介が、大正時代に暮らしていた邸宅を移築・復元した建物で、文化のみちの拠点施設として、文化のみちの様々な情報を提供するとともに郷土ゆかりの文学資料、貞奴・桃介に関する資料などを展示公開しています。また色々な企画催事等を通して、文化や情報の提供と発信を行っています。

今年も文化の日の11月3日(日)に二葉館では、幅広い世代にお楽しみいただける催しをご用意しました。さらに、この文化の日を含む期間には、展覧会や文学展を行います。



「歩こう!文化のみち」ふたば茶屋

名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」の途中にあたる二葉館では、休憩場所として皆さまにご利用頂けるように、今年も文化のみちを巡るスタンプリー「歩こう!文化のみち」の開催に合わせて、「ふたば茶屋」を開いて呈茶の無料サービスを行います。
見て聞いて感じて、文化のみち二葉館の内外の美しさにぜひ触れてみてください。
●11月3日(日) 午前11時より先着100名様に呈茶整理券をお配りします。
会場 1階集会室
※呈茶無料
但し要入館料



画家・柳瀬辰久「水墨の扉展」

1階集会室と2階和室で、画家・柳瀬辰久氏の展示を行います。新作を交えた屏風をメインに作品をご覧いただけます。全ての作品は、深い意志を持って描きあげられました。柳瀬氏が渾身の思いで表現された屏風を前にすると作品たちが語り始めます。
秋の日に、眼でそして心で水墨の世界を感じてみてはいかがでしょうか。
●11月3日(日)～11月8日(金)



※11月5日(火)は休館日です。
会場 1階集会室・2階和室1&2
入場無料 但し要入館料

「新美南吉の世界をたずねて」

今年、児童文学作家・新美南吉の生誕100年目にあたり、秋の特別展として「児童文学展「新美南吉の世界をたずねて」」を開催します。
二葉館では一昨年から、一般にあまり知られていない新美南吉の作品を、中部児童文学会会長の井上寿彦氏と元うりんこ劇団員のいのこ福代氏と共に掘り起こして紹介してきました。
今回は新美南吉の世界、作品とその背景について取りあげます。



写真提供:新美南吉記念館

●11月3日(日) 午前11時～12時
●10月8日(火)～11月10日(日) 期間中の毎週土曜日13時30分より、新美南吉作品の読み語りを行います。
会場 2階展示室7

●11月3日(日) 「新美南吉の世界をたずねて」

●午後の部 14時～15時30分 「新美南吉のお話」

●出演 井上寿彦氏 「最後の胡弓弾き」

●出演 いのこ福代氏、石田音人氏 会場 1階大広間
※いずれも入場無料 但し要入館料